

**副専攻名 考古学[基礎]****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

考古学の概念、考え方などの基礎的な事柄を知り、日本を含む世界の考古学の基礎知識を学ぶ。

**副専攻の学習成果**

歴史、社会、文化を考えるために、一つ一つの資料の積み重ねから過去を復元する考古学の考え方を身に着ける。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41476	地域考古学A1	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41478	地域考古学A2	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41477	地域考古学B1	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41479	地域考古学B2	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41480	比較考古学A1	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41482	比較考古学A2	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41481	比較考古学B1	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41483	比較考古学B2	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
21209	考古学概説A	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する能力を習得する。	2～4				
21210	考古学概説B	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する能力を習得する。	2～4				
41857	考古学実習I A	考古学にとって最も基本的な作業であるモノの資料化に係わる基礎的技術を修得する。	2～4				
41858	考古学実習I B	考古学にとって最も基本的な作業であるモノの資料化に係わる基礎的技術を修得する。	2～4				
41859	考古学実習II A	モノの資料化に係わる技術を修得し、発掘から報告書作成に至る作業の流れを理解する。	2～4				
41860	考古学実習II B	モノの資料化に係わる技術を修得し、発掘から報告書作成に至る作業の流れを理解する。	2～4				